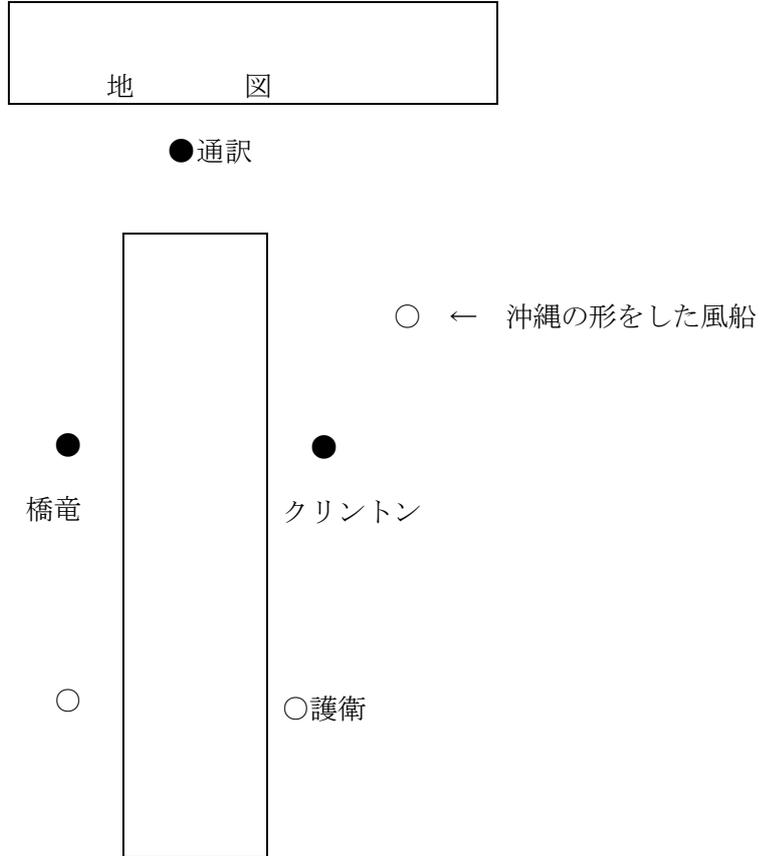


## 基地はどこへいく

【縦長の机。椅子が三つ。橋竜、クリントン、通訳の三人。護衛二人】



大きな日本地図の前で、クリントン、通訳、シークレットサービスが座る。橋竜は頭のセットに時間がかかり、遅刻。イライラのクリントンが、日本の形をした風船をお尻にポンとぶつけて遊んでいる（チャップリンの独裁者の例のシーンのパクリ。クリントンの動きはあのチャップリンの動きと分かるようにやる。

〔橋竜、頭をなでつけながら、護衛を連れて登場〕。クリントン、あわてて、風船を隠す

橋竜：（目を完全に細めて、満面の笑みを浮かべつつ） やまやあやあやあ。オーウ、ミスター・プレジデント。アイムソーリー、ヒゲソーリー、私は日本のソーリーです。ズゴ。（姿勢を正して）大統領閣下、大変失礼致しました。

通訳：鹿児島弁で繰り返す〔※以下、通訳については省略〕

クリントン：（鹿児島弁で） いやいやいや。〔満面の笑みを浮かべながら〕 大統領を待

たせるなんでふてえやろうだ。〔これは通訳はオドオドして、訳さない〕

橋竜：大統領閣下。沖縄にある38の基地・施設については無事、これからも安心してお使い頂けることが決まりました。今年のあなたとの共同宣言で、在日米軍4万7000人を維持することをお約束しました。沖縄とともに、本土にある米軍基地を今後どうしていくかです。色々ご希望がありましようから、今日は率直に、お考えをお聞かせ下さい。

クリ：私はサックスが好きなんです。音楽に合わせながら、ここは一つお話していきましょう〔サックスの曲が流れるなか、クリントンは腰を揺すりながら地図の前で話します〕 まず、横須賀、三沢、岩国、佐世保。これはずっとずっと使いたいです。とくに横須賀は大切です。95年に中東方面を専門とする第5艦隊をつくりましたが、その一部が横須賀に常駐するわけですね。それでわが軍のための住宅が横浜あたりに600所帯分増えたけど、もっと増やして下さい。風呂は必ず一軒に二つ。寝室はダブルベッドが二つおけるスペースをとって。アッ、4Pやるなんて思ったらだめよ。それと、キッチンも広くとってね。年間4843億円もわが軍に出してくれる、気前のいい国はニッポンしかありません。今後もよろしくね。

橋竜：それはもう。わたしたちもそのつもりです。住宅には、私の選挙区に近い岡山県北部の立派なスギを使った、和室もつけましょう。

クリ：アッだめだめ、わたしは花粉症です。それは結構です。それから、岩国基地。〔地図で示す〕。あそこの沖合1キロに、基地を新しくつくる計画。あれ全然進んでないじゃない。どうするの。

橋竜：あれは調査予算を毎年つけています。地元も賛成にまわったし、沖縄の空中空輸機の部隊をぜんぶ引き受けることになったので、岩国には今後予算をどんどんつけるつもりです。沖縄が片づくまでもう少しお待ち下さい。

クリ：あつ、そー。 沖縄のフテンマ基地のかわりを海上ヘリポートね。あれとてもいいです。〔声を潜めて〕あれはね、足はない方がいいですよ。

橋竜：ハーツ？ 色々な作り方があって、鹿島に聞いたら、土台がしっかりしたのを作  
って、しっかりと……

クリ：ノー、ノー。土台はいりません。そのかわり、海上ヘリポートのはじっこに大きな  
スクリューとエンジンをつけて下さい。

橋竜：それって、とてつもなく大きな航空母艦じゃないですか。それじゃ、ひょっこりひ  
ょうたん島だ。

クリ：WHAT？ [ここだけ英語で]。

橋竜：これは昔、日本の某国営放送でやっていたテレビ人形劇です。ドンガバチョ。

クリ：どうでもいいけど、波をチャプチャプ、チャプチャプかきわけて、スーイ、スーイ  
と、どこへでも移動できる。ペルシャ湾にもいける。これも日本人の税金でできま  
す。わが国も空母をたくさん維持する予算が大変なので、これ一隻、ごめんこれ一  
つでとても便利です。ありがとう。橋本さん。

橋竜：国民にもマスコミにも、土台がないことは秘密にしておきましょう。九州では最近  
地震が多いので、このヘリポートが動いたら、地震のせいにしてしましよう。ハハハ

クリ：それから、もう一つお願いがあります。東京の真ん中に、ハリアー戦闘機の基地が  
ほしい。これは垂直に飛び上がれるので、飛行場はいらない。しかも、森のなかに  
隠しておいて、そこから飛び上がることもできる。だから、わたしとしては、東京  
のあそこ、ほら木がたくさんあって、人があまり出入りしていないところ……

橋竜：[けっそうを変えて] ダメダメ。ダメです。とんでもない。恐れ多いことです。東  
京に米軍基地をこれ以上つくれば、反発が多い。いわんや、あそこはだめ。絶対だ  
め。わたしの首がとぶ。

クリ：WHAT？ あなた、いったいどこを考えているのですか。わたしは、最近物分  
かりがよくなった東京都知事をあなたが説得して、代々木公園のなかに作ってほしい  
といているのですよ。

橋竜：〔ホッとして〕エッ、アっそうですよね。そうそう。代々木公園。そうそう。フー  
わかりました。何とかしましょう。今日は時間もだいぶ立ちました。またこの次、  
ご要望をお聞きすることにしましょう。

クリ：ガイドラインでも、日本周辺ということで、あちこちいってもらし、基地もくれ  
るし。橋本さん。あなたは本当にいい人だ。日本周辺といっても、それは広いです  
からね。これからもよろしくお願いしますよ。

橋竜：日米関係あつての国際関係ですからね。わたしからもお願いします。

〔「二人のために世界はあるの」の歌にあわせて、二人が踊る。ポロッと出てきた日  
本の恰好をした風船を、クリントンがあわてて、橋竜に分からないように遠くへ蹴  
っ飛ばして、終わり〕